

私が学生生活の中で力を入れていることはいくつかありますが、その中の1つに教職課程があります。私は普段、学科の授業に加えて教職課程という教員になるためのカリキュラムを履修しています。

いよいよ来年は教育実習があり、母校での実習になります。今は指導案の完成度を高めることや、授業をする際の子どもたちとのコミュニケーションの取り方など、模擬授業でフィードバックを受けながら技術を磨いています。

ここで私の教職エピソードを少し話したいと思います。教員になりたくて始めたことなのですが、教職課程を取っている中で、教員への道向いてないのかなと思うことがありました。自分は上手く授業ができなくて、周りの先輩や同期は上手くできているように見えてしまい、自分に自信をなくす瞬間が多々ありました。

この作文を書いている今日は、たまたま模擬授業の日でした。これまで模擬授業を何回かやってきましたが、模擬授業後のフィードバックの時に、今までで1番良かったと先生に言っただけでした。自分の中でも今日が1番できたという自信がありました。嬉しさと同時に、経験ってこんなにも力になるものだとか気付かされました。今は、これからどんな壁にぶつかっても逃げずに向き合い挑戦し続けたいという思いでいっぱいです。経験が、いつかの自分の大きな力に変わると思うからです。

そして、大学3年生になった今後輩に伝えたいことは、自分に向いてないと思うことでも、挑戦してみることで道は開けるということです。やりたくて始めたことでも、私のように壁にぶつかることは必ずあります。つまりいた時に、どれだけ向き合ってきたかで後々の自分に大きな差を生むのです。

マインドの部分は他人には見えません。他人からは見えない部分ですが、自分自身には確かに見えているのです。自分にしか見えないマインドを磨きつづけていくことで、後々大きな自信に変わっていくのだと思います。今何か夢があり、それに向かって頑張っていることがある人は、一緒に頑張りましょう。